

令和3年度

# 8月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	16回
2	延べ従事補導委員数	26人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	77人



## 8月の補導日誌から

8月2日(月) 夜間巡回 専門補導委員 記

**巡回経路** 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク内プレイサークル  
→ 大型スーパー店内ゲームコーナー及びフードコート等

### 補導の様子

8月になるとともに、新型コロナウイルスの佐久圏域の感染警戒レベルが4になった。月曜日午後7時過ぎの大型スーパーの混雑には程遠いと感じた。日が暮れていたが、市民交流ひろばの人影は3人のみ。来県した若者が座して語っていた。あいさつと簡単な会話を試みた。ミレニアムパーク内プレイサークルでは、バスケット場に5人、スケートボード場には14人の若者が集って思い思いに練習していた。顔見知りになったボーダーからあいさつされた。五輪の新種目となり話題性豊富な競技になって練習への熱量を感じた。午後8時近くなり、大型スーパー店内に戻りゲームコーナーとフードコートに立ち寄ったが閑散としていた。

8月3日(火) 専門補導委員 記

**巡回経路** 野沢児童館、野沢会館、  
野沢地区の公園(中嶋・原・城山・中嶋・高柳・取出町ふれあい)

### 補導の様子

野沢児童館・野沢会館を訪問し、その移動中に野沢地区内の公園数か所に立ち寄った。野沢児童館は、約50名の児童が来館し、勉強したり遊んだりして夏休みをすごしていた。利用するのは低学年生が多く、お弁当持参で朝から来館する児童もいるとのこと。野沢会館自習室は、定員の三分の一に減らした席が中・高校生で満席状態、静かに勉強をしていた。中嶋公園には、弦楽器を背負った男女高校生3名が談笑中。軽音楽部で活動している1年生とのこと。総文祭や県大会に出場した先輩達に負けないよう頑張ると明るい笑顔で話してくれた。城山公園には、未就学児童の親子が数組いたが、他の公園には人影がなかった。

8月4日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐太夫町公園 → 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園 → 平賀新町公園  
→ 佐久城山児童館 → 成知公園 → カラオケ店

**補導の様子**

夕方になっても日中の大気の熱が留まっていた補導活動となった。最初に訪れた佐太夫町公園には4人の女子高校生が水鉄砲で楽しそうに戯れていた。ジャージ姿だったが、「部活の帰りではない」と明るく返答をしてくれた。橋場公園は木陰に入りながら2組の園児と親が遊んでいた。佐久城山児童館ではちょうど清掃と除菌の時間であったが、夏休み中の様子を伺った。登校時の児童は80人程であった。休み中は30人程になり、学習や遊び、清掃をして過ごしているとのこと。成知公園は女子中学生6人が東屋に集まっていたが、声かけする間もなくヘルメットを被り各々自転車で帰宅するところだった。カラオケ店の受付のスタッフは、「お客さんは以前と変わらない。最近、当店が感染予防対策として紫外線の滅菌をしていることが報道されたこともあり、安心感を持たれているのではないかと話してくれた。



8月5日(木)

夜間巡回

専門補導委員 記

**巡回経路** 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク  
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート

**補導の様子**

夕方は、暑さも和らいで補導活動の助けになった。市民交流ひろばでは男子高校生5~6人が遊具にとりつき童心に帰って戯れていて楽しそうだった。ベンチでは高校1年生の女子5人が裸足になり楽しそうにおしゃべりしていた。同じ中学出身ということで気が合う友達同士のような。暗くなりかけていたが、親子連れも夕涼みをしていた。ミレニアムパークには、BMX(バイシクルモトクロス)やスケートボードを楽しむ若者が14人ほど集まっていた。あいさつするとほとんどがしっかり返してくれた。タバコを携行している人もいたが、ゴミなどが落ちていないところを見ても、マナーを守って施設を利用している様子うかがわれる。話しかけた若者は屈託なく話に応じてくれた。夜10時まで照明がついているのでこれから来る人もいるという。佐久平駅前では高校生5人がベンチに座っていた。サッカーの部活動の帰りで、どの子も列車を降りて家の人の迎えを待っているところだという。オリンピックのサッカーもテレビで観戦したようだ。大型スーパー内ゲームコーナーでは、親子連れ数組を含め10人前後が利用していた。お店の方にうかがうと、中高生はもっと早い時間に来ることが多いとのことだった。また、コロナ禍でどの時間帯でも利用者数は減っているということだった。

8月10日(火)

夜間巡回

専門補導委員 記

**巡回経路** 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 佐久平駅前交番  
→ 佐久平駅 → 市民交流ひろば

**補導の様子**

佐久圏域の新型コロナの感染警戒レベル引き上げ(4→5)に伴い、補導活動が制約を受けざるを得ない状況から、当夜の活動は担当職員と専門補導委員の3

人により、市民交流ひろば周辺を巡回した。日没後のひろばの芝生上で 10 人以上の若者が開放的に走り回っていたのが印象的である。遊歩道をウォーキングする 2 人連れや屋根があるベンチで食事を摂っているグループ等、思い思いに過ごしていた。ミレニアムパーク内のプレイサークル方面からにぎやかな声が聞こえていた。バスケット場は 3 人、スケートボード場には保護者同伴の小学生も含め 11 人が、真剣に練習していた。そのうち 1 人は見事な BMX (バイシクルモトクロス) の技を披露していた。佐久平駅前交番にて、最近の交流ひろば周辺の様子を伺うと「特に大きな問題となる行動はない」とのこと。市民交流ひろば周辺のトイレ数か所を確認したが清潔に保持されていた。佐久平駅 2 階待合所には数人の高校生が学習する姿が見えた。



8月11日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 大沢地区グラウンド → 前山地区運動公園 → 道の駅 → 桜井区こどもひろば → 城山公園 → 原公園 → 県民佐久運動広場 → 中嶋公園

#### 補導の様子

大沢地区グラウンドでは高校生 3 人がサッカーの練習をしていた。率先して会釈をしてくれて好印象を抱いた。前山地区の道路の狭い箇所、自転車で乗っている 3 人の小学生と出会ったが、停車して待っていると会釈して通り過ぎた。前山地区運動公園には誰もいなかった。道の駅では県内外の自動車で満車の状態。道の駅付設の遊具のある広場で親子が遊んでいた。桜井区こどもひろばの隅でバーベキュー中の成人男性 4 人を見かけた。城山公園では 5 人の男女中学生が楽しそうに談笑中で、遠方から会釈してくれた。原公園では小学校高学年の男児 3 人がヘルメットを被り自転車で帰宅するところを見た。公園内では小学校低学年の男児 2 人が母親に見守られながら遊具で遊んでいた。県民佐久運動広場のグラウンドでは男子高校生 3 人が野球を楽しむ姿がみられた。様子から、現 3 年生が野球に関わった年月の余韻を過ごしている雰囲気であった。少し離れた芝生では、小学生の女児 3 人が野球をしていた。中嶋公園ではサッカーに興じる男子高校生 2 人とベンチで語り合うカップル 1 組を見かけた。公園は整地されており、夕方の穏やかな風が吹いていた。

8月12日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 浅間地区内の公園 (岩村田・鼻顔・大和町集会場横・中央・枇杷坂・ゆりのき・やまぼうし・ねむのき・近津南・若宮・一本柳 等)

#### 補導の様子

新型コロナウイルスの感染が広がり、佐久市は県独自の「感染警戒レベル 5 (特別警報 II)」が継続中。夏休み期間中の元気な子どもの様子を見ようと思い、浅間地区内の主な公園を巡った。あいにくの雨天でもあり、鼻顔公園以外の公園には子どもだけでなく人影は全くなかった。鼻顔公園では、小雨だった天候が急変、大粒の雨が降りだしたためか、ダンボールを頭上に掲げて傘の代わりにして車に向かって駆けている親子がいた。早く車に戻れるようにと思い、声はかけなかったが、公園で遊んで親子の触れ合いをしていたと思われ、ほほえましく感じた。一刻も早いコロナウイルス収束を願う街頭補導であった。

8月17日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐久城山児童館 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園  
→ 青沼児童館 → 田口児童館 → 佐久総合運動公園

### 補導の様子

佐久城山児童館には約40名が来館、いつもよりも静かな様子であった。職員にお聞きしたところ、「明後日から佐久城山小学校の二学期が始まるので、夏休みの宿題をやっている子が多い」とのことだった。青沼児童館には5名が来館、それぞれ読書をして静かに過ごしていた。コロナウイルス感染者急増の影響かお盆中の来館者は全くなかったとのことだった。田口児童館には約20名が来館。職員は、「田口小学校のプールが開放され、夏休み期間中プールを楽しみに来館する子が多くいた」と夏休み中の様子を話してくれた。数か所の公園を訪問したが、天候不順のためか来園している人はいなかった。



8月18日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** サングリモ図書館 → 中込駅 → グリーンモール → 公園(佐太夫町・横町・成田・橋場・水上・平賀新町・佐久総合運動・成知・宇とう) → 佐久総合体育館

### 補導の様子

サングリモ図書館は貸し借りに限定されているが、職員に本日の利用状況を伺うと、10人の小学生が保護者と一緒に図書の返却等をするために来館したと伺った。中込駅では列車が発着するまでの間に5人の高校生が入口で会話していた。グリーンモールはかなりの店舗が閉まっていて歩行者はいなかった。地下道は環境が保持されていた。公園の巡回では、橋場公園に成人2人、成知公園に5人の小学生がボール遊びをしていたところを見かけたのみである。佐久総合体育館の駐車場で、ユニホームを着た小学生が父親と笑顔で歩いている姿を見た。少年スポーツ教室等の帰りと思われるが、夏休みの終わりの良き日になったことだろう。

8月19日(木)

専門補導委員 記

**巡回経路** 横和団地内公園 → 千曲川スポーツ交流ひろば → 榛名平公園 → 菖蒲池公園  
→ 五郎兵衛記念館 → 泉公園 → 布施温泉公園 → 若駒児童公園

### 補導の様子

長雨後、久方ぶりに太陽が顔をのぞかせ夏の暑さが戻った日でしたが、夕方にはまた雲が広がってきました。新型コロナウイルス感染症「感染警戒レベル5(特別警報Ⅱ)」対策の一つとして、人と会う機会をできるだけ減らすために補導活動も声かけ等はできるだけ行わずに実施しました。また、ふだん補導委員の皆さんと活動している巡回基本コースでは、あまり訪れない公園を中心に回りました。若駒児童公園では、小学生4~5人が楽しそうに遊んでいましたが、そのほかの公園では子どもたちの姿は見られませんでした。どの公園も草刈り等が行き届きこざっぱりしていて、主に利用する子どもたちへの温かい配慮がなされている様子が見られ、感銘を受けました。帰路の途中、高瀬小の校庭で野球の練習をしている小中学生を見かけましたが、子どもたちが生き生きと活動している姿は、地域に活気をもたらすものになるなあと感じました。

8月20日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 白田・野沢・中込地区内の公園(下の宮・稲荷山・高柳・鍛冶屋・原・城山・成知)

### 補導の様子

下の宮公園には、通学用ヘルメット着用の男児3名と女児3名がブランコや追いかけっこをして元気に遊んでいた。稲荷山公園には、老人男性が一人で散歩中だった。この老人男性のほかに未就学児童の親子3組くらいがおしゃべりしたり、滑り台等で遊んだりしていた。高柳公園と鍛冶屋公園は誰もおらず閑散としていた。原公園には、低学年と思われる女子児童3名が東屋で勉強をしていた。また、父親と園児服姿の親子3組位が遊具で遊んでいた。城山公園には自転車遊ぶ男子児童数人がいたほか男女高校生がベンチで会話をしていた。成知公園には、約40人位の園児・小学生・中学生が公園内のあちこちで思い思いに楽しんでいた。



8月23日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 北中込駅 → 東小学校通学路 → 駒込公民館 → 槌ヶ崎公園 → 志賀地区グラウンド → 駒場公園 → 宇とう公園

### 補導の様子

北中込駅では高校生数人が小海線の降車後に歩く姿を見かけた。駅プラットフォームには家族3人が列車を待っていた。母親と祖父と一緒にいた幼児があいさつをしてくれた。駅舎の汚れ等はなく周辺は整備されていた。東小学校通学路は多くの児童が楽しく語らって歩いていた。駒込公民館は遊具が設置されていたが子どもはいなかった。志賀地区グラウンドの隅で父親と3人の子どもが遊ぶ姿を見かけた。駒場公園の遊具場や宇とう公園には人がいなかった。

8月25日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 紅雲台区グラウンド → 公園(岩村田・鼻顔・王城・曾根・仙祿湖・久保田・枇杷坂) → ミレニアムパーク内プレイサークル → 市民交流ひろば

### 補導の様子

久しぶりに真夏日になった。紅雲台区グラウンドでは、低学年の女子児童2人が遊具で遊んでいた。鼻顔公園では遊具の周りで多くの親子連れが憩いの時間を過ごしていた。1人の子どもを抱えもう1人の手を引いていた母親が公園から駐車場へ横切ろうとする時、数台の自動車が往来し不安な表情をしていた。仙祿湖公園は蝉時雨の木陰で1組の親子連れが楽しく遊んでいた。他の公園も巡回したが人はいなかった。ミレニアムパーク内プレイサークルでは、スケートボード場に3人、バスケット場にはジャージ姿の中学生4人と私服の高校生4人が嬉々として別々のゴールにシュート練習をしていた。好天の夕刻になり、広々とした芝生上や遊具付近では、沢山の親子連れや高校生の集団など、思い思いに過ごしていた。

8月26日(木) 学校訪問(浅間中学校)

専門補導委員 記

### 概要

新型コロナウイルスの感染が拡大している中、専門補導委員だけで浅間中学校を訪問し、生徒指導の先生から生徒の様子などをお聞きしました。また、専門補導委員からは普段行っている街頭補導活動時の子どもたちの様子を話し情報共有を図りました。生徒は、コロナ禍の中、学習・部活等頑張っているとのことでした。今年は、東信大会や県大会も開催され健闘し、これからは新人戦に向けて頑張ろうとしていた矢先にコロナの感染警戒レベルが5になったため、二学期になってからは、部活動は実施していないとのことでした。SNSでのトラブル、公園内での不適切な行動、登校しぶりや不登校などの問題があるが、その都度の指導や外部講師を招聘しての指導を行っているとのことでした。

8月27日(金) 学校訪問(東中学校)

専門補導委員 記

### 概要

専門補導委員だけで東中学校を訪問しました。教頭と生徒指導主事の先生から生徒の様子などをお聞きし、専門補導委員からは生徒の校外での様子等をお伝えしました。新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで普通にできたことが出来なくなっている現状などを説明してくださいました。例年文化祭では合唱を行っているが、感染防止の観点から今年度の文化祭で合唱を行うことを含め具体的なことは決定していないそうです。それでも生徒は文化祭開催に向けて頑張っているとのことでした。また、地域の方の協力で地域とのかかわりの深い校風になっているとおっしゃっていました。地域には『地域の子どもは地域で育てる』と考えている方が多いようで、地域に愛されている学校だと感じました。



## ＜8月の補導を終わって。 専門補導委員＞

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、佐久圏域では県独自の感染警戒レベル「5」(特別警報Ⅱ)が続いているため、8月は専門補導委員だけで街頭補導活動や学校訪問を行いました。また、過日お知らせしましたが、街頭補導活動等は9月27日までは引き続き専門補導委員だけで活動いたします。9月28日以降につきましては、今後の感染状況等を勘案し、改めてご連絡させていただきます。

7月に始まった『東京2020オリンピック』が閉幕し、続いて『東京2020パラリンピック』が開幕しました。出生時から障がいを持っていた選手、幼児の時に病気が発覚し手や足を切断した選手、視力が低下し成人後に失明した選手、電車脱線事故で頸髄損傷した選手、結婚して5日目に事故で腕を失った選手などが紹介されました。「事故の被害者でかわいそうと見られるのはいや。生きるのなら楽しみたい。」と自分になりたい姿をイメージし、就職・一人暮らし・本の出版・講演会などできることを増やし自信が持てるようになった。」とインタビューに答えていました。また、ほとんどの選手が家族・友人・関係者に対し『感謝』の二文字を口にしていました。選手のひたむきな努力、数多くの挫折や失敗を乗り越えて自らの限界に挑む姿は多くの感動を与えてくれました。この感動を胸に、これからも青少年健全育成に微力ですが尽くしていきたいと決意を新たにしたいと夏でした。